

犬山城探訪



2023年9月8日(金) 8:20～18:15 日帰りバス旅行 天候:曇り 参加者:27名

犬山城は1537年織田信長の叔父、信康により築城された平山城である。戦国の世を生き抜き、その最古の木造天守は国宝にも指定され「現存12天守」のひとつである。尾張と美濃の国境に位置し、北側には木曾川が流れており戦国時代は国盗りの要所となった。2004年まで日本唯一の個人所有の城であった。



鉄門 (くろがねもん)



天守は日本最古の様式で望楼型天守と呼ばれ、地下2階地上4階建



入城口(地下2階)より入った所、野面積の石垣、手斧で削った大きな梁、急な階段



石落しの間



石落し



唐破風の間（天井が弓なり）



唐破風（弓なりになっている）
その上には左右に華頭窓もある



天守最上階の廻縁より
濃尾平野（南側）を眺めると
小牧山がうっすらと

北西方向の金華山頂上には
岐阜城も見えた



城下町



私達グループの記念写真

本日は地元のガイド様のご案内でお城と城下町を
2時間程で案内して頂いた。
城下町には結構若い方も沢山見受けました。
城下町の散策にだけ来られる方もおられる様であった。
天守に入ると階段の勾配が急で、また最上階の欄干も
かなり低く当時のままの様であった。

台風の影響を心配したが雨も降らず、見学日和となり、
ほぼ予定通り無事に帰阪出来た。

CA様をはじめ、お世話になった方々に感謝！感謝！
ガイド様有難うございました。



終礼 皆様お疲れ様でした

広報担当